



アスペン・ジュニア・セミナー（オンライン）参加者募集（高2限定）

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、ZOOM ミーティングを使用したオンラインでの開催となります。以下、募集要項から抜粋してご案内します。対象学年は高2のみです。興味のある生徒諸君は必要書類をグローバル教育部に提出して下さい。期日が迫っているので期限厳守をお願いします。

【目的と効果】

アスペン・ジュニア・セミナーは「よく生きる」ことを古典に学ぶ、高校2年生を対象としたリベラル・アーツ・セミナーです。このセミナーは、東西の「古典」を教材に、参加者による「対話」を通して「よく生きるとは」、「何のため学ぶのか」、「何のため働くのか」、「大切にしたい価値」といった人生の重要な課題について考えることを目的としています。難解な古典のテキストを徹底的に読むことにより高い読解力を養うだけでなく、古典に触れる喜びを体験します。学校の教室とは異なり、正解のない事柄に対して、自分の頭で懸命に考え抜く経験をし、さらに「対話」を通してそれぞれが考えたことを披歴しあうことで、視野を広げ、判断力を高め、将来大きな困難に遭遇した時に何らかの解決の糸口を発見する力を養います。

【セミナーの進め方】

各校からの参加者1クラスあたり最大17人編成の2クラスで、10月のオリエンテーションを皮切りに、11月・12月・1月の各月1回、日曜・祝日の午後を使って、Web会議ツールを使用して対話が繰り広げられます。参加者は、事前に配布する東西の「古典」を抜粋したテキストを何度も読み、セミナーに備えます。モデレーターと呼ばれる進行役の先生は、直接的には何も教えません。参加者同士の対話を通して、自分自身への反省や発見、そして著作や著者に対する思索が深まります。

【セミナー日程】

オリエンテーション	10月24日（日）	午前10時～12時
セミナー Day 1	11月23日（火・祝）	午後1時～5時
Day 2	12月19日（日）	午後1時～5時
Day 3	1月16日（日）	午後1時～4時20分

【参加条件】

- 高校2年生に限る。
- オリエンテーションを含め上記4日間にすべて出席できること。
- パソコン、インターネット環境が整っていること。スピーカー（又はヘッドフォン）・マイク・及び内蔵カメラが必要。パソコン端末からアクセスする。

【使用テキスト】

オリエンテーション 芭蕉 「おくのほそ道」

Day 1 アリストテレス「形而上学」 ソロー「ウォールデン」

Day 2 旧約聖書「創世記」 オルテガ「大衆の反逆」

Day 3 森 鷗外「かのように」

【セミナーにご参加いただく先生（予定）】

関根 清三 先生（東京大学 名誉教授）

荻野 弘之 先生（上智大学 教授） 他 産業界の先生方

【参加費用】 無料

【本校内募集スケジュール】

1校から最大2名までという条件になっています。

本校特有の事情として10月24日（日）は修学旅行第1隊の出発日となっています。主催団体に確認した所、通常通りの校内募集をした上で応募者が出そろった所で再度先方と相談するという事になりました。第1隊のクラスの生徒が校内選考にエントリーすること自体は妨げませんが、正式応募の段階でプログラムに参加できなくなる可能性があり得るということ織り込んだ上で応募して下さい。生徒諸君には不便をお掛けしますがどうか御理解下さい。

更に来年1月16日は大学入試共通テストの同日体験模試を受験すると思いますが、アスペンセミナーは全日程の受講が条件となります。アスペンセミナーの受講を希望する生徒は担任及び学年主任の先生にあらかじめ共通テスト体験模試2日目の受験ができない旨の許可を得ておいて下さい。

アスペン研究所への書類提出が迫っているために、参加希望の生徒はA4用紙に①クラス・番号・氏名、②パソコン用のメールアドレス、③セミナーへの参加志望動機を書いて9月11日（土）朝8時までにグローバル教育部へ提出して下さい。用紙は特に指定のものはありません。記載は手書き・PCどちらでも結構です。主催者に修学旅行1隊の生徒の有無を含めた本校の応募状況をご報告した上で最終的な応募者を決定します。

セミナー受講後はグローバル通信に感想を寄せてもらうこともあらかじめ了解して下さい。

【参考】

参考までに昨年度参加した生徒の感想文は以下のURLから御覧になれます。

グローバル通信94号

<https://www.kaijo.ed.jp/wp-content/uploads/2021/01/907256fbffed44a97326c51e88a84d02.pdf>

第5回全国高校教育模擬国連大会（AJEMUN）参加報告 その1

8月7日（土）～8日（日）に上記大会がオンラインで開催されました。この大会は模擬国連活動を広く普及させることを目指して希望者は事前選考なしで出場することができます。今年は「児童労働」というテーマで全国から600名を越える高校生が経験者対象の3議場、初心者対象の4議場に別れて議論を交わしました。本校からは経験者議場にエントリーした3ペアが各議場で見事最優秀賞を獲得しました。おめでとうございます。各ペアに感想を寄せてもらいましたのでぜひご覧下さい。紙面の都合上2回に分けて掲載しますのでどうかご了解下さい。

高校2年3組 加悦成晃・高校2年4組 市川義之助

今回カナダ大使で最優秀賞を受賞しました、高校2年の加悦成晃・市川義之助ペアです。今回は「児童労働」という議題にカナダ大使として参加させていただきました。カナダは、児童労働に関して先進的な立場の国なので積極的に児童労働をなくしていく政策を展開して会議に臨みました。当日は、様々なハプニングがあり両大使とも孤立しかけ落胆から会議がスタートしました。しかし、積極的なペア・他大使との連携により先進国のグループをまとめ議場全体をリードしていくことができました。残念ながら一つの決議案にまとめることはできませんでしたが、積極的に他グループとの交渉を主導することによって二つの決議案をコンセンサスで可決することができ、非常に満足な結果が得られました。今回最優秀賞を受賞できたのも、これまでの会議経験を生かして混乱していた議場全体を的確に把握しリードしていくことができたからだと思います。今回の反省点としては、僕らの会議に対する熱量がオーバーしてしまい、会議序盤は議場を少しばかり混乱させてしまったことが挙げられると考えています。今後の会議においては熱意を持ちつつも、頭は冷静にして会議に望みたいと思います。最後に会議を主催して下さった方々、顧問の先生方、大使の皆様、そしてZoomに感謝申し上げます。現在、模擬国連に限らず多くの対面活動が中止となっており、他校との交流が難しくなっています。しかしそのような現状の中でも、Zoomは他大使の懸け橋になり、「実は対面ではないか？」と疑ってしまうほどのレベルまで他大使と繋いでくれました。Zoomには感謝してもしきれません。



A 議場最優秀賞
カナダ大使

左 加悦君
右 市川君

高校1年6組 榊田 啓太郎・高校2年2組 内田 紘輔

今回のAJEMUNにて最優秀大使賞を頂きました、高校2年の内田紘輔と高校1年の榊田啓太郎と申します。この度は栄えある賞を頂きましたことを非常に嬉しく思っていると同時に、模擬国連という活動をしている中で新たに一步前進できたことに感銘を受けております。

さて、ここでAJEMUNについて説明をしても全くもって有意義ではありませんので、この場所を借りて改めて「模擬国連」という活動を説明して参りたいと思います。

まず模擬国連とは、を説明すると、読んで字の如く「国連を模擬する」となります。模擬国連活動の普及に尽力なさっている、他校の先生のお言葉を頂戴いたしますと、「生徒による国連会議」です。学生がその会議の参加者、つまり各国の大使や議長を担って、実際の国連と同じ会議方式で、それらの立場から国際問題を議論していきます。もう少し具体的な説明をすると、それぞれ原則2人1組で、アルゼンチン大使、ルワンダ大使などという風に、国連加盟国や組織が各ペアに割り当てられます。

単なるディスカッションとは違い、大使の立場なので、各国の利益が大切です。しかしそれと同時に、国連という場で話す以上、世界全体の利益も同じぐらい重要です。この国の利益と世界の利益という相反する事柄の両立を目指して、様々な立場の国が同じ議題で交渉し、妥協点を探していくこととなります。それを実際の国連会議同様のプロセス、手続きに沿って議論・交渉、決議案の作成、投票、採択と進めていくのです。そして、実際の国連会議と同じ状況を想定しながらある国際問題について、その国の立場で議論しつつ他の国と調整しながら国連決議案を作っていくというのが模擬国連のおおまかな活動内容です。

恐らくこれだけの説明では、模擬国連の内容や面白さは半分も伝わらないかと思いますが、少しでも模擬国連に興味を持っていただけたら幸いです。お読み頂きありがとうございます。



C 議場最優秀賞
DPR Korea 大使

左：榊田君
右：内田君

いよいよ2学期が始まりますが現在の都内における若年層の感染状況・医療態勢を考えると決して楽観はできません。入院が必要でも入院できない患者さんが多くいらっしゃる現実を考えるとまずは自分でできる感染対策を今後も日々きちんと実行していき、この難局を乗り越えていきましょう。今学期も安全を確保しつつ新たなことに挑戦していただきたいと思います。今後も有意義な情報提供をしていきたいと思っておりますので引き続きご愛読下さい。